

# 慈恩寺 Times

第29号

【発行】  
寒河江市慈恩寺振興課  
【発行日】  
平成30年8月20日(月)  
【問合せ・ご意見等】  
寒河江市慈恩寺振興課  
TEL:0237-86-2111(内線452)  
E-mail:jionjishinko@city.sagae.yamagata.jp

## 本山慈恩寺本堂、再建400年！



本山慈恩寺本堂は今年で再建落成から400年を迎えます。本堂が落成したのは元和4年(1618)8月でした。これは旧暦ですので、今年の暦になおすと9月10日からの1ヶ月にあたります。永正元年(1504)の戦いで、慈恩寺全体が焼け、人々は歎き悲しんだと記録にあります。その後、飯堂を再建するものの、昔の姿には戻らなかつたようです。しかし、山形城主の最上氏により元和2年

から再建に取り掛かり、2年後に完成しました。この本堂は、本堂下に隠れていた礎石から、焼失以前と同じ規模と考えられています。慈恩寺の約千年にも及ぶ長い歴史の中で、本堂は4回火災に遭ったと記録にあります。その度に慈恩寺の人々は再建復興に取り組んできました。400年前に再建された今の本堂は、桃山時代(豊臣秀吉の頃)の建築様式を今に伝えるものとして、国の重要文化財に指定されています。

### 本堂落慶400年記念「慈恩寺の宗教と仏像展」

【期間】

9月10日(月)~10月14日(日)

※9月23日(日)は午後のみ

受付：午前8時30分~午後4時

【会場】

本山慈恩寺本堂

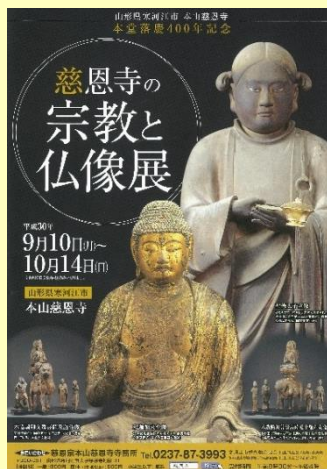
【拝観料】

一般：800円(団体料金有)

小中学生以下：無料

【問合せ】

本山慈恩寺 ☎0237(87)3993



### 「慈恩寺の宗教と仏像展」期間中のイベント

9月9日(日)

・本堂落慶400年記念法要

午前10時~ 本堂にて

・慈恩寺柴燈護摩会

午後1時~ 慈恩寺白山堂前護摩炉にて

9月23日(日)

・彼岸花野点俳句会

午前10時~ 本山慈恩寺境内にて

問合せ：本山慈恩寺 ☎0237(86)3993へ

9月22日(土)

・第6回慈恩寺講演会

「釈迦如来及諸尊像と聖徳太子像について」(仮)

午後2時~ 慈恩寺活性化センターにて

講師：井上 大樹 氏(文化庁文化財調査官 ※村山市出身)

問合せ：寒河江市慈恩寺振興課 ☎0237(86)2111(代表)

9月9日(日)・23日(日)

・史跡慈恩寺散策イベント

問合せ：悠久の里慈恩寺運営委員会事務局

☎080(8218)0457(受付：平日午前11時~午後1時)

※非通知着信不可。開催日1週間前まで予約必要。

# 慈恩寺を歩いてみよう！

## 「仁王坂コースその2」

慈恩寺旧境内は、江戸時代の絵図に描かれた様子が良好に残っていることから国史跡に指定されました。

江戸時代や明治時代に描かれた慈恩寺の様子と今の様子を見くらべながら歩き、何百年も前から伝わる姿を見てください。

今回は、前号に続き仁王坂コースをご紹介します。慈恩寺の中核である本堂境内地に入ります。



山門裏石垣



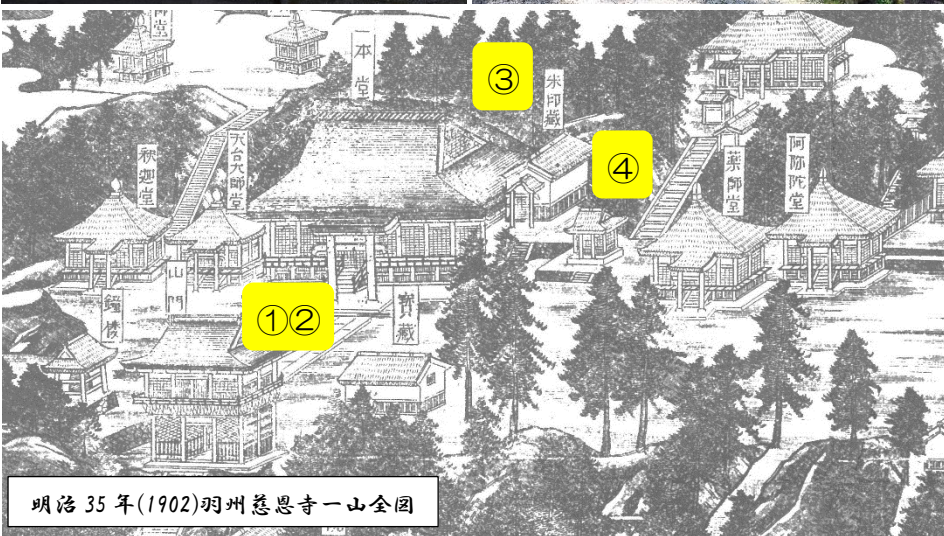
本堂境内地



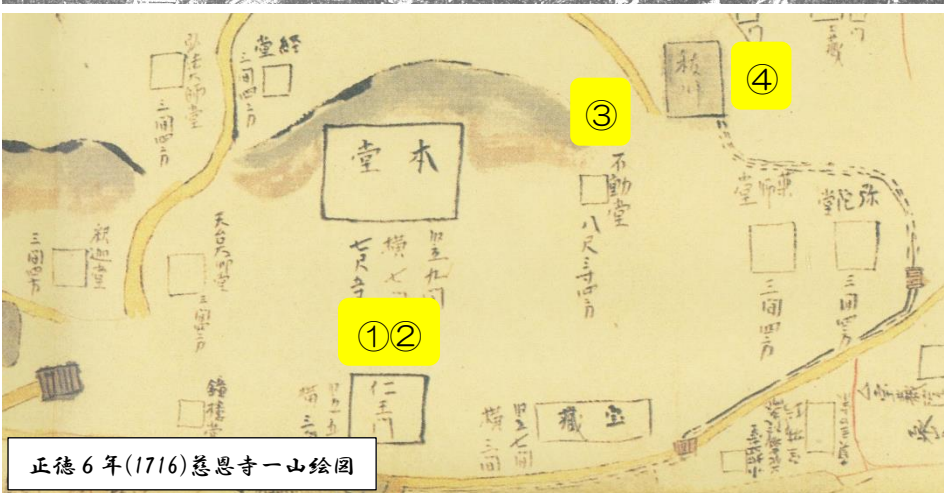
御朱印蔵跡



祓川関伽井



明治35年(1902)羽州慈恩寺一山全図



正徳6年(1716)慈恩寺一山絵図

①山門裏の石垣は、安永7年(1778)に寄進されたものです。

2段構えの石垣は御朱印蔵跡にも見られ、慈恩寺の特徴と考えられます。

②永正元年(1504)の兵乱で慈恩寺全体が焼失しますが、その後復興が始まります。本堂は400年前の再建。また、釈迦堂・天台智者大師堂・薬師堂・阿弥陀堂は、今から約300年前の再建です。

私たちは、本堂境内地に江戸時代の慈恩寺の姿を今でも目にする事ができるのです。

③御朱印蔵は、慈恩寺の寺領約2,800石を江戸幕府が認める書状を収めた蔵です。寺の経済基盤の裏付けとなる書状でしたので、大切にされていました。

明治時代に寺領が没収され、蔵も解体されましたが、重厚な石垣が当時の面影を伝えています。

※ここでの御朱印とは、お寺でもらう御朱印ではなく、幕府が発行する朱色の將軍印が押された認可状「御朱印状」のことです。

④祓川の関伽井は、本堂に供える水を汲む井戸です。井戸は、近年まで生活用水としても使われ、限りある水のためルールを決めて利用されていました。